
レストルーム

吉田 料

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
レストルーム

【Nコード】
N6595N

【作者名】
吉田 料

【あらすじ】
おトイレの話です。

アンモニア臭にまじった、ラベンダーの香り。
むしろ、くせえじゃん、と和也は思った。
そんなことより、だ。

「うゝ……」

ひどい下痢だ。

久しぶりにゼミに出席しようとするから、こうなる。
慣れないことはするもんじゃない。

（朝に食ったヨーグルトか……？）

食べ終えたあと、期限が3ヶ月過ぎている事に気がついた。
学校へ向かう電車の中、猛烈な腹痛に襲われたのだ。
大腸や胃を思いつきりつねられているような、鋭い痛み。

「うゝうゝ」

金メダリストよりも速いんじゃないか、というぐらいのダッシュ
で便所に駆け込んだ。

もう、こもり出してから、小1時間くらいたっているだろう。
時計を見る余裕も無い。

その時。

シュツ、という音を立て、隣の個室から何かがすべりこんで来た。
床に2cm程度のスキマがあり、そこからだ。

「……」

エロ本だった。しかも無修正モノだ。

（そういう意味でうなつてたんじゃねえよっ！）

和也は隣の『住人』に叫び出したかった。

ありがたいが、今はそれどころじゃない……。

開けないエロ本をぼんやり眺めながら、和也は排泄作業に没頭した。

（はあ……）

ようやく収まってきた。

からからとペーパーを取り尻を拭き、ズボンを履いた。床を見ると、先ほどのエロ本が物言いたげに落ちていた。

「……」

和也は拾い上げ、ぱらりとめくった。

（いただきます）

拝むような仕草をして、リュックに仕舞い込んだ。個室を出、手を洗いながら和也はふと思い出した。

（今日もさぼっちだった……）

誰かの流した水音が、静かに響いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6595n/>

レストルーム

2010年10月10日09時38分発行